

仁科センター共用促進室公募研究会 申請書 (mini-WS 用)

提出年月日: _____

提出先: [sympo-kvovo\[at\]ribf.riken.jp](mailto:sympo-kvovo[at]ribf.riken.jp)

1) 開催予定日・場所

日程: 2025 年 6 月 27 日 (yyyy/mm/dd) ~ 2025 年 6 月 27 日 (yyyy/mm/dd) (開催日数 1 日間)

場所: _____

※ 事前に仁科センターのセミナー委員会 (npsoc@ribf.riken.jp) に連絡し、日程重複を避けるようにしてください。

2) タイトル

英文 (※必須)	Strategy of Frontend Electronics Development for Germanium Detectors
和文	

※ 採択された研究会はRIKEN Accelerator Progress Report に掲載するため英文タイトルは必須です。

3) 目的 (400字以内・書式自由)

SPADI alliance (阪大、理研、KEK、東大、東北大が運営) は、データ収集システムの標準化を目指している。各種実験に対応可能な回路、ファームウェア、ソフトウェアを、需要のすり合わせから共同開発することで、分野を超えたデファクトスタンダードの確立を目指す。これまで時間デジタル変換回路TDCの連続読み出しシステムをパッケージ化し標準システムとして公開したが、次のステップとして検出器への対応が課題となっている。特に RIBF において開発されているトラッキング Ge などを用いる高分解能分光用回路への対応が急務である。シリコン検出器用読み出し回路の開発が進み、特定条件下でのゲルマニウム検出器への応用可能性が示されたことを契機として、議論を開始していきたい。

本workshopでは、ゲルマニウム検出器開発者からの経験・需要・懸念点の報告と世界動向の整理を通じ、連続読み出しシステム開発の方針案をまとめる。

4) 世話人

世話人全員を記入。欄が不足する場合は行をコピーしてください。

	氏名	所属機関	電話	E-mail
世話人代表者 ※1	大田 晋輔	大阪大学	06-6879-8855	ota@rcnp.osaka-u.ac.jp
世話人2	本多 良太郎	高エネルギー加速器研究機構		rhonda@post.kek.jp
世話人3	北村 徳隆	東京大学		kitamura@cns.s.u-tokyo.ac.jp
世話人4	青井 考	東京大学		aoi@cns.s.u-tokyo.ac.jp
世話人5	山本 剛史	日本原子力研究開発機構		tyamamo@j89sks.org
RIBF内世話人 ※2	馬場 秀忠	理化学研究所		baba@ribf.riken.jp

※1 世話人代表者は、理研RIBF外の方が望ましい。

※2 理研RIBF内に世話人がいない場合は、事務局へご連絡ください。

5) 参加予定者・補助概算額

欄が不足する場合は行をコピーしてください。

氏名	所属機関・身分	旅費補助 ※補助予定者についてのみ記入				
		交通費概算		宿泊費概算		
		経路	金額	単価	泊数	宿泊費計
大田 晋輔	大阪大学・准教授	千里中央一和光市	¥ 32,000	¥ -		¥ -
本多 良太郎	高エネルギー加速器研究機構・准教授					¥ -
北村 徳隆	東京大学・助教					¥ -
青井 考	東京大学・教授					¥ -
山本 剛史	日本原子力研究開発機構・研究員					¥ -
馬場 秀忠	理化学研究所・チームリーダー					¥ -
小田原 厚子	大阪大学・准教授					¥ -
井手口 栄治	大阪大学・准教授					¥ -
小林 信之	大阪大学・准教授					¥ -
山本 康嵩	東京大学・特任研究員					¥ -
西畑 洸希	福岡教育大学・講師	黒ひたちなか市(佐和駅)→上野→池袋→和光	¥ 10,000			¥ -
今本亮	東北大学・大学院生					¥ -
合計		¥ 42,000				

参加予定者全員の氏名・所属機関を記入し、旅費補助予定者については補助概算額を記入してください。

- 【注意事項】
- 外国から招へいする場合は、日本国内の旅費と宿泊費をサポートします。
 - 東京都・埼玉県内に勤務する参加者は旅費補助の対象外です。
 - サポートは実費です。
 - 宿泊費は 9,980円/泊を上限とします。

■ お茶代

ミニワークショップについてのお茶代の補助はありません。

補助申請額合計

¥

42,000

※ 上限: 150,000円